

●2003年12月24日

抗CD23抗体の共同開発契約を解消

生化学工業株式会社(社長: 榎 史朗)は、米国のバイオジェン アイデック社(本社: 米国マサチューセッツ州ケンブリッジ CEO: ジェームス C. ミューレン)と抗CD23抗体を用いたアレルギー性疾患治療剤(SI-3401)の共同開発を進めてきましたが、この度、共同開発契約を解消し、許諾を受けている権利をバイオジェン アイデック社に返還することといたしました。これは、当プロジェクトの現在までの進捗状況等および製品パイプラインの選択と集中化を総合的に判断した結果、共同開発の継続を断念するに至ったものです。なお、バイオジェン アイデック社は米国におけるアレルギー性疾患および慢性リンパ球性白血病適応の臨床試験を継続して進めていきます。

抗CD23抗体は、バイオジェン アイデック社(当時、アイデック ファーマシューティカルズ社)が開発した霊長類化抗体技術をベースとして作製された抗体です。生化学工業は同社と1994年にアレルギー性疾患治療剤を目的としたライセンス契約を締結し、南北アメリカを除く世界各国における開発・販売権を取得すると共に、共同開発契約を締結していました。

生化学工業は、研究開発基本方針として複合糖質および関節疾患を重点項目と位置づけ、効率的な新薬開発を促進すると共に、共同開発、ライセンス活動などを通して、製品パイプラインの拡充および新製品開発の早期実現に努めています。更に、進行中のプロジェクトに関しても進捗状況を厳密に評価、判断の上、取り組みテーマを厳選し、新薬開発資源の重点配分を進めています。

以上